

## 5-2 岡崎市における地域公共交通活性化・再生総合事業

### 岡崎市地域公共交通総合連携計画の目標

岡崎市の総合交通政策に基づいて、鉄道や既存のバス路線と連携した利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けて、基幹となるバス路線を設定して幹線バスネットワークを整備し、交通拠点間快速バスの実証運行を行うとともに、地域交通(乗合タクシー・コミュニティバス)の実証運行、乗換拠点の整備、さらには、公共交通情報の提供充実や公共交通利用に対する市民行動の変革を推進し、公共交通の活性化及び再生を図る。

### 20年度事業の実施状況

#### 1. 事業の内容 1) 交通拠点間を結ぶ基幹バスの実証運行

##### ◆岡崎拠点快速バス「おかざきエクスプレス」

○運行期間 : H20.11～H22.3

○運行ルート: 岡崎駅～警察署～東岡崎駅～図書館交流プラザ～市役所口～岡崎げんき館～愛知病院～市民病院～中央総合公園等14箇所に停車(12.7km)

○運行本数 : 23便(平日・休日共)

○運賃 : 対キロ運賃(岡崎駅～中央総合公園530円)

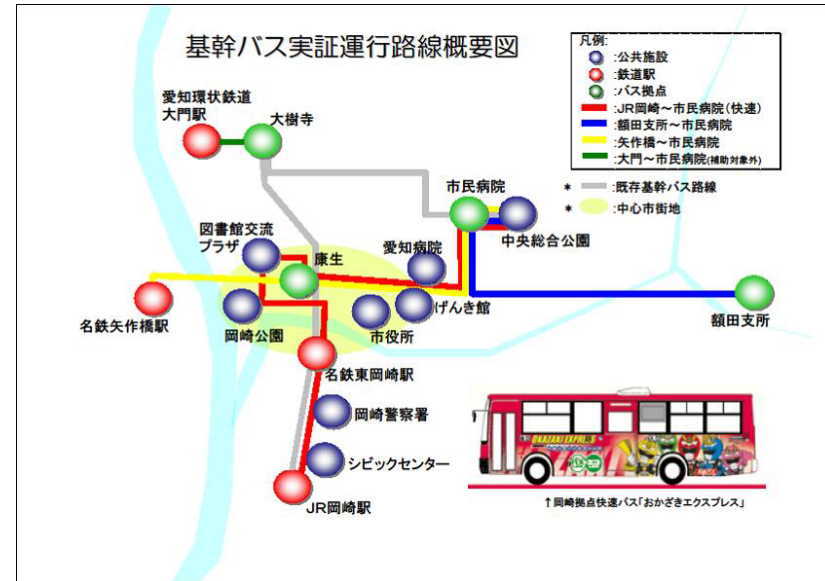
○運行事業者  
: 名鉄バス(株)



### 岡崎市交通政策会議

岡崎市、愛知県、県バス協会、県タクシー協会岡崎支部、名鉄バス(株)、岡東運輸(株)、市民・利用者代表、学識経験者、道路管理者、交通管理者、中部運輸局等

【事務局】岡崎市政策推進課内 0564-23-6486



## 2) 交通空白地域で乗合タクシーの実証運行

### ◆下山地区乗合タクシー「ささゆりバス」

○運行期間・運行日

: H21.3～H22.3の月～金曜日

○ルート: 日替り(地区循環コース、通院・通学コース、買い物コース)

○運賃: 200円  
300円  
500円

○運行車両  
: ジャンボタクシー

○運行事業者  
: 岡東運輸(株)



住民が停留所標識を製作・設置

## 3) 公共交通利用促進イベントの実施

11月1・2日の市民まつりを「公共交通に親しむ日」として公共交通利用促進イベントを実施。



## 4) 実証運行沿線でTFPの実施 5) 公共交通マップの作成

実証運行沿線地域へのMMとして、簡易TFPによるアンケート(4000人対象)を公共交通マップの作成・配布にあわせて実施。



## 2. プロセス、創意工夫

■市内バスネットワークを再編するため、ネットワークの弱い市内東西軸における基幹バス路線設定のための実証運行、交通拠点から移動ニーズの高い公共施設等へ快速性をもってアクセスできるバスの実証運行、交通空白・不便地域における乗合タクシーの実証運行、公共交通マップの作成や利用促進イベントの実施、TFPによるMMを実施。

■基幹バスは、11月1日から快速「おかざきエクスプレス」、「矢作橋・市民病院線」、「額田支所・市民病院線」の実証運行を開始。快速バスは赤色を基調に、市環境PRキャラクターと「バスLIFE＝エコLIFE」の文字を配し、一目見て快速バスと分かり、環境行動を呼びかけるデザインのラッピングを施した。

■乗合タクシーは、地域住民の主体的・組織的な取り組みのもと、ルート、ダイヤ、運賃、地域の協力方法など運行計画の作成を進め、住民が停留所標識を製作・設置したり、出発式を企画したりと積極的に事業に参加。3月2日から実証運行を開始した。

■11月1・2日の市民まつりを「公共交通に親しむ日」として、基幹バス実証運行セレモニーにあわせ、小学生以下バス無料、P&R用燃料電池バスの運行、エコモビリティパネル展、公共交通来場者への特典贈呈などを実施した。

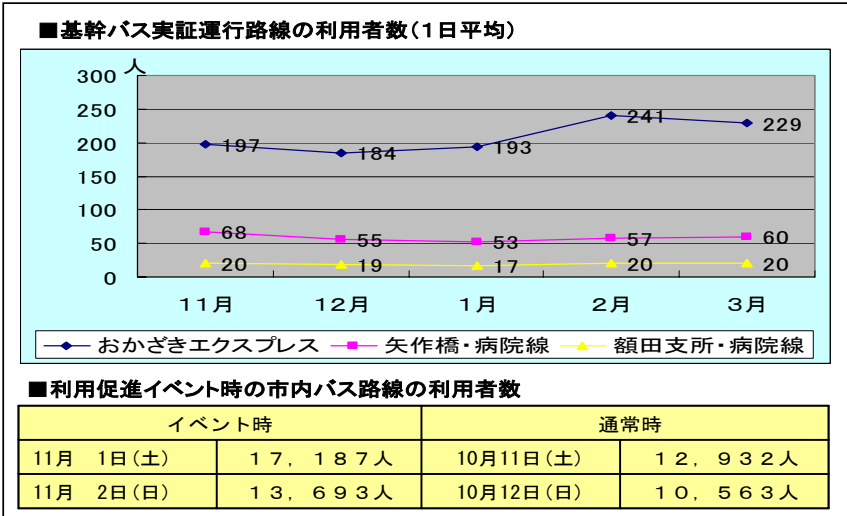
■実証運行路線沿線4,000世帯を対象に簡易TFPによるアンケートを実施。MMツールとして、動機付け冊子・公共交通マップ・個人別にカスタマイズしたバス情報、行動プラン票を作成した。

■実証運行路線利用者へのアンケートを12月に実施。事業継続に向けた実施事業の見直しを行った。

### 3. 事業費等(単位:千円)

■総事業費	97,719	●運賃収入	9,376
		●地域負担	
		・市負担金	60,147
		・その他	300
		●総合事業費補助金	27,896

### 4. 利用実績



### 6. 今後の課題

- 基幹路線の本格運行に向けた利用者確保のための通勤・通学需要への対応
- 地域が主体となった公共交通の本格運行、維持確保に向け、住民等による自主的・継続的な利用促進・協力等
- 公共交通利用への市民の意識転換をさらに進めるため、世帯のみならず、事業所、学校などを対象とした事業の展開

### 5. 事業実施効果

■主要な交通拠点と移動ニーズの高い公共施設等を直接結ぶ快速「おかげきエクスプレス」の運行により、今までの乗り継ぎによる時間的・経済的な負担が軽減され、市民や来街者にとっての利便性が高まり、利用者も増加している。

おかげきエクスプレス利用者の25%は市外居住者であり、観光・文化拠点(図書館交流プラザ、岡崎城、岡崎げんき館、美術博物館、総合体育館、岡崎中央総合公園等)への便利なアクセス手段として観光客等にも利用されている。

■郊外の拠点から市民病院などを結ぶ「矢作・病院線」「額田・病院線」は、今のところ利用者の伸びは低いものの、沿線住民アンケートでは、市民病院、公共施設、まちなかへの移動が便利になったとの意見が多く、生活の安心感が向上したという回答も多い。利用者アンケートでも、額田・病院線では9割の利用者が「便利になった」と答え、高齢者等の移動の改善が図られている。

■11月に中心市街地で開催した市民まつりと連携して実施した「公共交通利用促進キャンペーン」では、市内路線バスの利用者が通常の土休日の約1.3倍に増えて、全市を挙げての各種イベントや公共交通利用PRによって、バス利用が促進されたことがわかった。

### 21・22年度の事業予定

- 基幹バス実証運行・本格運行……………21年度・22年度
- 交通空白・不便地域における地域交通の実証運行・本格運行……………21年度・22年度
- 公共交通利用促進事業の展開……………21年度・22年度